

株式会社 ナダヤ

革の未来を
創造するメーカー

海外発注可
納期相談
企画力自信有
コスト相談
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産対応



英国伝統のブライドル革の財布

業務内容
国内・海外自社工場で
品質とコストを両立

「ナダヤ」は昭和35年の創業で、当時は財布などの製品をメーカーから仕入れ、地方の卸問屋へ販売していたが、その後、自社製造に切り替えていった。製造を始めた当初からデザイナーを抱え、国内の職人の手による良質なオリジナル製品を販売していた。

安価な海外製品の流入に対して、コスト競争力を確保するため、平成2年にタイ工場を設立。現在では主力工場となり生産量の50%近くを担っている。流通チャネルの変革に対応し、WEB事業による消費者への直接販売や記念品事業など販路の多様化も進めている。

強み
資材調達と生産拠点を
グローバル化

世界中に資材調達先のネットワークを有し、また、日本と海外に自社工場を構え、分業が主流の皮革業界において、調達から製造まで一気通貫で生産できることを強みとする。イタリア・イギリスなど欧州やアジアから、商社を通さず資材を直接買い付け、コストメリットを出す。買い付けた資材はニーズに合わせて3つの工場に振り分け、生産に入るといった具合にさまざまな価格帯・生産ロットに迅速に應じる体制を構築している。

他社向けのOEM（相手先ブランド生産）供給も行っており、単色の財布であれば30個から製造する。国内工場には日本鞆ハンドバッグ協会主催の技術コンクールで1級を取得した職人も在籍し、高品質の製品を展開している。

技術継承
地域に根付いた
タイ・アユタヤ工場

あえて自社工場を持つことで、技術の伝承

を行ってきた。タイ工場はまもなく設立30年を迎え、設立当初から働く従業員は今や大ベテランになっている。「タイ生産であっても技術レベルは高く、安心して販売できる」と灘武志社長は同社におけるタイ工場の重要性を語る。タイ工場は首都バンコク郊外のアユタヤの村中に構え、近隣住民の働く場の提供にもなっており、「近所で働けると、ずいぶん喜ばれた」という。

平成27年にはタイプラスワンの戦略で隣国ラオスにも工場を設立。タイ人技術者が指導を行い、技術継承を目指している。

今後の展望
キャッシュレス時代に対応、
製品拡充を目指す

キャッシュレス社会への変革を踏まえ、次の一手を打つ。現在は売り上げの80%近く財布が占めているが、今後はバッグやモバイルケースなども広く展開する。バッグは紳士用ビジネスモデルを展開する予定。大手ブランド商品と同等の品質を保ちながら半額以下で提供し、コストメリットを消費者に訴求する。

主力製品である財布・革小物においても、革素材に直接インクジェットで特殊印刷する新規事業ブランド「esolia」を展開。ペットや子供、趣味の写真など顧客の好みのデータを印刷し、世界で1つだけの革製品を提供する。



イタリア革を使ったシンプルなショルダーバッグ



タイプラスワンのラオス工場

当社の歴史



現相談役の灘進一が昭和35年に大阪で創業しました。中国製品が国内市場で拡大する中、タイ工場・ラオス工場を設立し、価格競争力を保ってきました。平成19年より直販部門を強化し、BtoCのチャンネルにも力をいれています。

代表取締役 灘 武志さん

<http://www.nadaya.co.jp/>

主な事業内容

革小物（財布、名刺入れなど）
およびバッグの製造・販売

主な取引先（納入先）

（株）ラップス（グループ会社）、
大手通販会社

●住所 〒577-0824
東大阪市
大蓮東3-4-2
●TEL 06-6720-1522
●FAX 06-6727-8261
●創業 昭和35年
●設立 昭和46年8月
●資本金 1,000万円
●従業員 24名

大阪29